

JA雲南から今年も カーブミラーを寄贈

秋の交通安全運動初日となった9月21日、JA雲南から交通事故の防止に役立ててほしいと、今年も奥出雲町へ道路反射鏡(カーブミラー)17本を寄贈して頂きました。

この日はJA雲南の石原代表理事常務、三原保全課長が役場を訪れ、趣意書を読み上げ目録を岩田町長へ手渡しました。

町では各自治会等からの設置要望のある場所に設置し、交通事故防止に役立てていきます。



若槻一夫氏から 100万円のご寄付を頂きました

亀嵩出身で現在、広島市で会社長としてご活躍中の若槻一夫氏は、これまで35年間にわたり、地元のお年寄りに敬老の祝い品や町内の小学校に教育備品を贈って頂き、また平成16年にはご当地演歌「忘れないで奥出雲」を作って頂きました。



今年は、奥出雲町の高齢者福祉のため役立ててほしいと100万円の寄付をして頂きました。

町では福祉基金に積み立て、町の福祉事業発展のため大切に活用させて頂きます。

ありがとうございました。

株式会社ガット 工場を移転・増強

医療用プラスチック用品の加工、精密機械部品等の設計、製造を手がけている株式会社ガットでは、産業機械部品等の樹脂加工の受注を更に拡大するため、工場を移転す

ることになりました。島根県は企業立地促進条例に基づき支援を行うため、九月二十七日、立地計画認定書交付及び覚書の調印式を県庁において行いました。

いる樹脂部品の製造、販売等の拡大を図ります。敷地面積は約一万四千五百平方メートル、工場建物は鉄骨二階建て、述べ床面積千四百平方メートルで、今回の投資額は一億二千五百万円です。

立地計画認定書が澄田知事から吉見代表取締役役に交付された後、山下助役を交えた三者で覚書に調印しました。工場移転に伴い、島根県からは投資額の十割助成等の支援が行われます。

新工場では、町が整備した堅田工業団地の貸工場内に最新機器を導入し、近年、品質及び機能の向上により需要が高まって

調印式を終え、吉見代表からは「山陰ではこの業界で唯一の企業であり、親会社と連携し有利展開を図りたい。新工場を拠点に地域の活性化はもとより、地元を代表する企業に飛躍したい」と力強い決意の言葉がありました。



地域の発展を願う三者で握手